



2023ヒロシマ平和研修

「平和のバトン」を一人ひとりがつなぎ「戦争と核」のない平和で安心して暮らせる社会をめざそう!!



本川小学校入り口の原爆慰霊碑に献花し、色紙を手向ける

1945年8月6日午前8時15分に本川小学校付近の上空で原子爆弾が爆発。その被害を受けた状態をそのまま残した本川小学校平和資料館



JR東労組青年部としてヒロシマの実相から原爆の恐ろしさや悲惨さを学び、ウクライナなど今なお戦争が続く情勢に目を向け、平和運動の必要性を訴えられる仲間づくりをめざし、8月5日～7日、「2023ヒロシマ平和研修」を開催しました。

1945年8月15日の終戦から78年になります。ロシアによる核使用の脅威や、ウクライナによるクラスター爆弾の使用、台湾情勢などで緊張感が高まる中、日本でも軍拡や改憲の動きが顕著になっています。一方、5月にはG7・先進国首脳会議が開催され、核兵器のない世界に向け、「核軍縮に関するG7広島ビジョン」が発出されました。しかしその内実は核兵器の存在を否定せず、脱炭素に向け原子力エネルギーの促進も盛り込まれ、核兵器のない世界とは程遠いものとなっています。

最後に総括会議を行い、研修を通じて参加者から「核なき世界と言いつつ、核軍縮を掲げていることに違和感を感じる」「核は改めて恐ろしいものだと感じた」「核と人類は共存できないことを原発事故が象徴している」「平和を守るためには、自分たちを守るための行動」と多くの感想が述べられました。

ヒロシマで学び感じたことについて新聞投稿を行っていくと、私たちが若い世代が「平和のバトン」をつないでいく実践をしていくことを確認しました。

8月6日は平和記念式典に参加し、原爆投下の8時15分に黙とうを行いました。その後は原爆ドームや平和公園内の碑めぐり、本川小学校の見学を行い、さらには被爆証言の会・山岡美知子さんよりご講話を頂きました。

8月7日は平和記念資料館の見学を行い、「核と人類は共存できないこと」「いのちを犠牲にしてまで利益を得る戦争の本質」について学びました。



被爆2世として「語り継ぐヒロシマ」と題してお話くださった山岡美知子さん

組織拡大

JR東労組に結集し 共に頑張ろう!

加入情報!!

2名未加入 速報!!

1名加入!!

●加入した本人●
「以前から東労組に興味があり、周りの組合員の先輩が相談に乗ってくれたので加入した!」
労働条件向上のためにJR東労組に、結集しよう!!

秋田県豪雨災害 緊急激励行動を行う!!

「抵抗とヒューマニズム」の精神で 寄り添い、助け合おう!

中央本部は、7月24日～25日 状況を目の当たりにしました。被災した組合員に対する緊急の激励行動を行いました。

2023年7月中旬に東北地方で発生した大雨によって、秋田県を中心に多くの組合員が被災しました。床上・床下浸水、車の水没をはじめ多くの被害が出ているなかでも、職場の組合員・社員は鉄道の復旧と安全確保、お客さま対応に全力を尽くしています。

その時はまだコンビニ等はほとんど営業しておらず、公園には被害にあった家財道具等が山積みになっている

秋田県内の公園

JR東労組は結成以来「抵抗とヒューマニズム」を掲げ、相互扶助の精神で組合員同士が寄り添い、助け合いながら組織の必要性を確認してきました。

現在、「秋田県豪雨災害緊急支援カンパの取り組み(8月末日まで)」も行っています。みなさんご協力をお願いいたします。

豪雨で被災された組合員の皆さん 総合共済を申請できます

【申請に必要なもの】

- り災証明書(※)
- 被害状況写真
- 住宅災害事故調査報告書

※り災証明書が取得できない場合は、領収証が必要です

仲間を助け、支え合い、皆で難局を乗り越えよう! 被災された方はお近くの役員までご相談下さい!

秋田地本への激励

被災した組合員への激励

今こそJR東労組の必要性を発揮しよう!